

2021年12月期第1四半期 決算説明会資料

2021年5月7日

ローランド株式会社

ドラムらしい存在感のあるルックスと演奏感を追求した電子ドラム
V-Drums『VADシリーズ』



今回発表のポイント

- 2021年12月期 第1四半期は、**当社想定を上回る着地**
- 需要状況、供給確度を精査し、2021年12月期の業績予想を**上方修正**
- 今期の上方修正により、中期経営計画(2020-2022)を**1年前倒しで達成**見込み
- 今後も、新生活様式の浸透により、**コロナ前よりも一段強い需要が継続**すると見込む

1

2021年12月期 第1四半期 決算概要

2

2021年12月期 通期 業績予想修正概要

3

2021年12月期 上期・下期別 業績予想修正概要

4

事業環境アップデート

5

補足資料

1

2021年12月期 第1四半期 決算概要

2

2021年12月期 通期 業績予想修正概要

3

2021年12月期 上期・下期別 業績予想修正概要

4

事業環境アップデート

5

補足資料

第1四半期 決算のポイント

売上高

223億円

(対前期比 **+56.5%**)

- 継続的な強い電子楽器需要により、**全地域、主要カテゴリーで大幅増収**
(前期末に確保した在庫は想定以上の早さで消化)
- 前年同期間にコロナ影響を大きく受けていた中国で大幅回復

営業利益

46億円

(対前期比 **+321.2%**)

- 原材料価格、海上輸送費の高騰は悪影響を与えたものの、**引き続き高い利益率を維持**
- 販売管理費も前期水準を維持した結果、増収効果により**大幅増益**

四半期純利益¹

34億円

(対前期比 **+423.3%**)

- 営業外損益は前期水準を維持
- 特別損益²の影響も少なく、増収効果が反映

¹ 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

² 特別損益1.1億円：欧州子会社不動産売却益2.6億円、欧州競争法関連損失1.4億円

第1四半期 連結業績

(単位: 百万円)	2020年12月期 1Q ¹		2021年12月期 1Q ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	14,282	100%	22,355	100%	+56.5%
売上総利益	7,021	49.2%	10,491	46.9%	+49.4%
販管費	5,926	41.5%	5,881	26.3%	-0.8%
営業利益	1,094	7.7%	4,610	20.6%	+321.2%
四半期純利益 ³	654	4.6%	3,423	15.3%	+423.3%

1 2020年12月期1Qの為替レート 米ドル/円：108.94、ユーロ/円：120.16、ユーロ/米ドル：1.103

2 2021年12月期1Qの為替レート 米ドル/円：105.91、ユーロ/円：127.72、ユーロ/米ドル：1.206

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

第1四半期 製品別売上高

単位：百万円	2020年12月期 1Q		2021年12月期 1Q				
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比	増減要因
鍵盤楽器	4,292	30.1%	6,924	31.0%	+61.3%	+57.5%	Stay Home需要により、ポータブルタイプの電子ピアノが引き続き好調
管打楽器	2,693	18.9%	5,052	22.6%	+87.6%	+84.6%	Vドラム・アコースティック・デザインシリーズ、電子管楽器が好調
ギター関連機器	4,084	28.6%	5,588	25.0%	+36.8%	+34.6%	ルーパーシリーズ ² や定番のコンパクトエフェクターが好調 屋外使用を想定したアンプの販売回復
クリエイション関連 機器&サービス	1,731	12.1%	2,836	12.7%	+63.8%	+62.3%	88鍵盤を搭載したシンセサイザーが好調 ダンス&DJ関連製品では、新製品が貢献
映像音響機器	915	6.4%	1,273	5.7%	+39.2%	+38.4%	企業や教育、個人の配信需要の高まりにより、AVミキサー等の 関連製品が好調
その他	564	3.9%	679	3.0%	+20.4%	+19.2%	カラオケ業界の設備投資減少によりOEMが減少 楽器関連アクセサリ(ケーブル等)は好調
合計	14,282		22,355		+56.5%	+53.9%	

1 為替影響を除外した比較

2 楽器やボーカルのフレーズなどを録音、ループ再生することができるエフェクター。録音したフレーズを繰り返し再生しながら、更にそのフレーズに新たなフレーズを重ねていき、リアルタイムでパフォーマンスを行う

第1四半期 地域別売上高

単位：百万円	2020年12月期 1Q		2021年12月期 1Q				
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比	増減要因
日本	2,162	15.1%	2,841	12.7%	+31.4%	+31.4%	年始に、1都3県に対し緊急事態宣言が発出されたが、影響は限定的 引き続き電子ピアノや、配信需要の増加でビデオ関連製品が好調
北米	4,091	28.6%	6,440	28.8%	+57.4%	+60.9%	港湾混雑による供給リードタイムの長期化があるものの、電子ドラム、楽器用 アンプ、エフェクター等がオンライン販売を中心に好調
欧州	5,167	36.2%	7,849	35.1%	+51.9%	+44.3%	コロナ感染再拡大があり、販売店舗の一部営業制限はあるものの、引き続き 幅広い製品群でオンライン販売が好調
中国	1,016	7.1%	2,116	9.5%	+108.1%	+99.6%	ロックダウン下であった前年同期間から状況が改善 電子ドラム、楽器用アンプ、電子管楽器など販売が回復
その他	1,843	13.0%	3,106	13.9%	+68.6%	+66.6%	東アジア、インドを中心に電子楽器への需要が増加 一方で行動制限も再開され、不安定な状況は継続
合計	14,282		22,355		+56.5%	+53.9%	

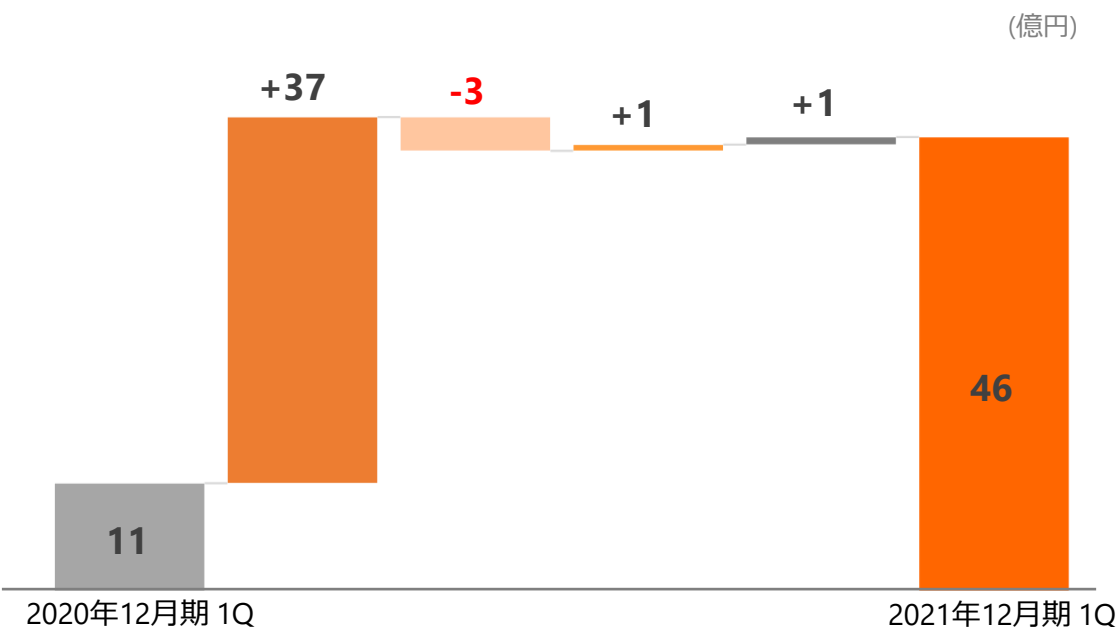
1 為替影響を除外した比較

第1四半期 連結営業利益

増減(対前期比)

主な要因

- 増収効果
- 利益率変化
- 販管費増減
- 為替影響



■ 増収効果

- 増収に伴い売上総利益額が増加

■ 利益率変化

- 原材料費、海上輸送費高騰等の影響により低下

■ 販管費増減

- 広告販促費、旅費交通費が減少も、売上増加に伴う人件費増加もあり、トータルでは前期並

■ 為替影響

- ドル/円、ユーロ/円、ユーロ/ドルにおいて、全通貨ペアが想定よりポジティブに推移

1 2021年12月期 第1四半期 決算概要

2 2021年12月期 通期業績予想修正概要

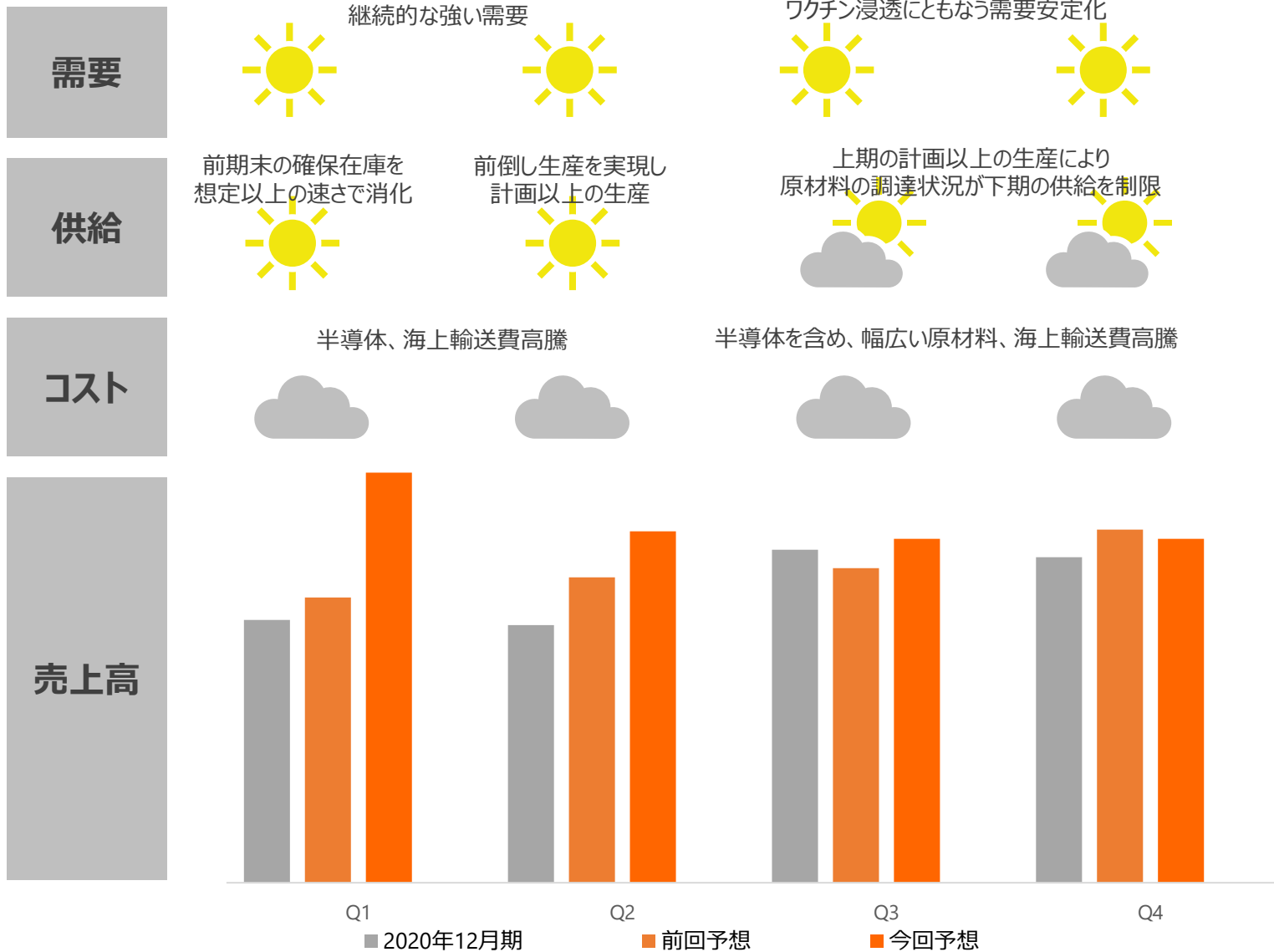
3 2021年12月期 上期・下期別 業績予想修正概要

4 事業環境アップデート

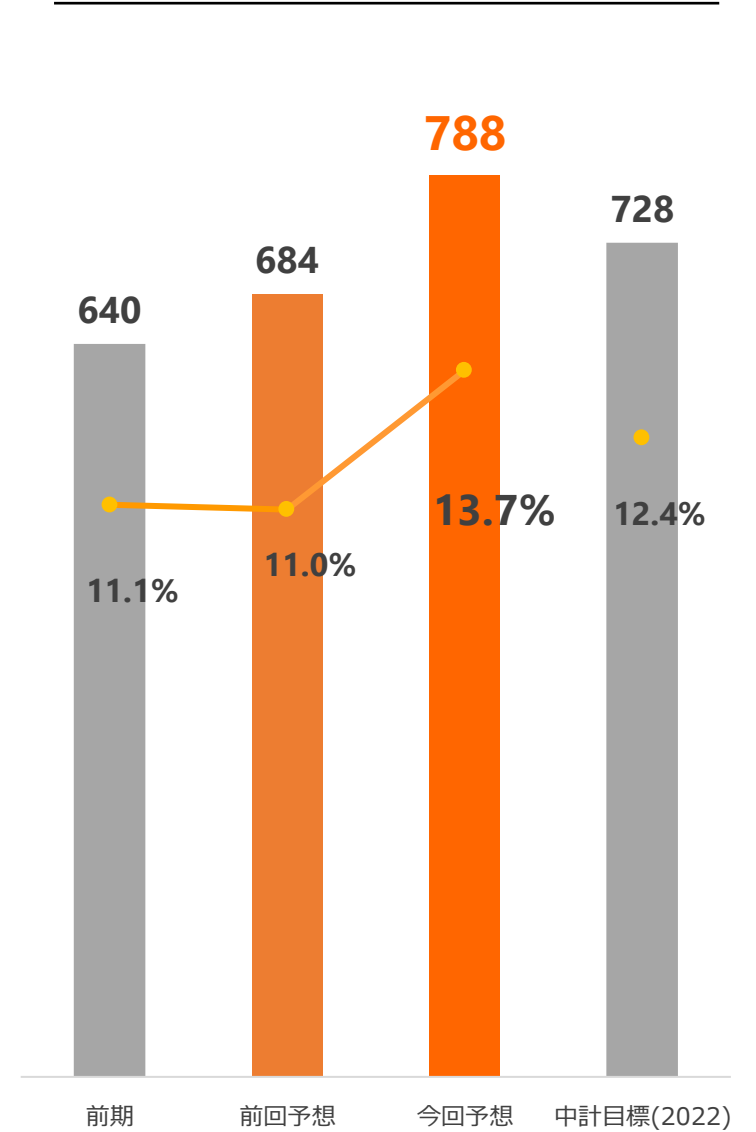
5 補足資料

需要の安定化、原材料費の高騰や調達リスク等あるも、中期経営計画を1年前倒して達成見込み

<見通し>



通期



通期業績予想修正のポイント ～中期経営計画の1年前倒し達成を見込む

売上高

788億円

(前回予想比 **+15.2%**)

- 引き続き強い電子楽器需要と供給確度の精査を反映
- 電子楽器事業における、3期連続での**過去最高売上高**を更新見込み

営業利益

108億円

(前回予想比 **+44.0%**)

- 原材料費や輸送費の継続的な高騰などにより、売上総利益率は低下
- 販管費率をマネージし、上半期の増収効果により、額、率ともに**過去最高営業利益**を更新見込み

当期純利益¹

77億円

(前回予想比 **+48.1%**)

- 上半期の増収効果と、前期発生した特別損失がなくなることにより**大幅な増益**見込み

- 今回修正した業績予想の達成に必要な半導体は確保できる見通し

¹ 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

通期連結業績予想

	2020年12月期 ¹		2021年12月期 ²					
	実績	売上比	前回予想	売上比	今回予想	売上比	前回予想比	前期比
(単位: 百万円)								
売上高	64,044	100.0%	68,400	100.0%	78,800	100.0%	+15.2%	+23.0%
売上総利益	30,379	47.4%	33,000	48.2%	36,800	46.7%	+11.5%	+21.1%
販管費	23,264	36.3%	25,500	37.3%	26,000	33.0%	+2.0%	+11.8%
営業利益	7,115	11.1%	7,500	11.0%	10,800	13.7%	+44.0%	+51.8%
当期純利益 ³	4,301	6.7%	5,200	7.6%	7,700	9.8%	+48.1%	+79.0%

1 2020年12月期の為替レート 米ドル/円：106.83、ユーロ/円：121.85、ユーロ/米ドル：1.141

2 2021年12月期の想定為替レート 米ドル/円：105.98、ユーロ/円：127.18、ユーロ/米ドル：1.200

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

通期製品別売上高予想

単位：百万円	2020年12月期		2021年12月期					
	実績	構成比	今回予想	構成比	前回 予想比	前期比	実質 ¹ 前期比	補足コメント
鍵盤楽器	17,842	27.9%	26,000	33.0%	+38.3%	+45.7%	+42.1%	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の新しい生活様式において想定を上回る強い電子楽器需要 コロナが終息に向かったエリアでも電子楽器への強い需要が継続 新製品の販売は想定を上回り好調 3Q以降、原材料の調達状況が供給を制限
管打楽器	14,620	22.8%	17,600	22.3%	+14.3%	+20.4%	+17.4%	
ギター関連機器	16,712	26.1%	18,100	23.0%	+2.8%	+8.3%	+5.9%	
クリエイション関連 機器&サービス	8,010	12.5%	9,500	12.0%	+3.3%	+18.6%	+16.3%	
映像音響機器	4,597	7.2%	5,100	6.5%	+2.0%	+10.9%	+9.3%	
その他	2,261	3.5%	2,500	3.2%	+4.2%	+10.6%	+6.9%	
合計	64,044		78,800		+15.2%	+23.0%	+20.2%	

通期地域別売上高予想

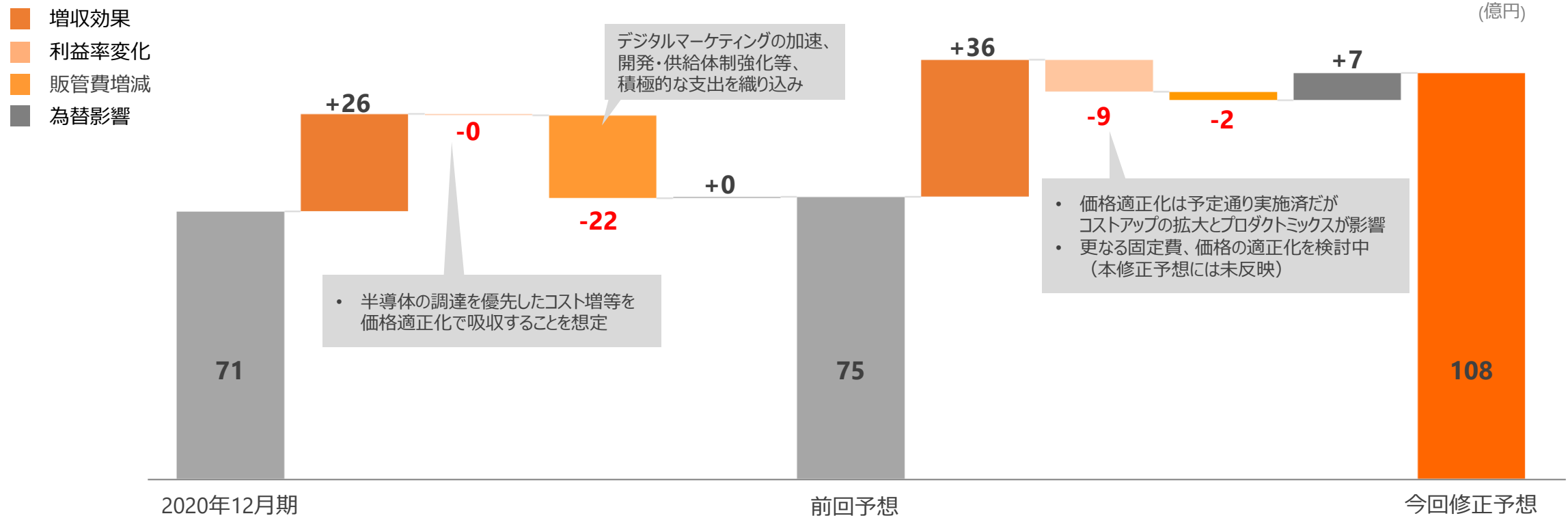
単位：百万円	2020年12月期		2021年12月期					
	実績	構成比	今回予想	構成比	前回 予想比	前期比	実質 ¹ 前期比	補足コメント
日本	9,066	14.2%	9,300	11.8%	+1.1%	+2.6%	+2.1%	<ul style="list-style-type: none"> 全エリアでのデジタルマーケティング促進によりオンラインチャネルでの販売が大幅増 米国では新規チャネル開拓が軌道に乗り販売が拡大 3Q以降、競合他社の供給安定化による競争環境の変化も織り込み
北米	19,963	31.2%	24,800	31.5%	+19.8%	+24.2%	+24.0%	
欧州	21,027	32.8%	25,400	32.2%	+13.9%	+20.8%	+16.6%	
中国	6,304	9.8%	9,100	11.6%	+23.0%	+44.3%	+35.6%	
その他	7,682	12.0%	10,200	12.9%	+15.9%	+32.8%	+29.5%	
合計	64,044		78,800		+15.2%	+23.0%	+20.2%	

1 為替影響を除外した比較

通期連結営業利益予想

前回予想からの
修正ポイント

- **増収効果:** 増収に伴う売上総利益額の増加を見込む
- **利益率変化:** 原材料費、海上輸送費高騰は継続見込み、低価格帯ピアノの販売拡大も利益率に影響見込み
- **販管費増減:** 売上増加に伴う物流コストや人件費増加を、広告販促費等で調整し全体での増加を抑制
- **為替影響:** ドル/円、ユーロ/円、ユーロ/ドル等、主要通貨ペアがポジティブに推移と予想



1 2021年12月期 第1四半期 決算概要

2 2021年12月期 通期 業績予想修正概要

3 2021年12月期 上期・下期別 業績予想修正概要

4 事業環境アップデート

5 補足資料

上期、下期、通期共に増収増益を見込む

	上期予想	下期予想	通期予想
	増収増益	増収増益	増収増益
売上高	414億 ・前回予想比：+29.0% ・前期実績比：+46.6%	374億 ・前回予想比：+3.0% ・前期実績比：+4.4%	788億 ・前回予想比：+15.2% ・前期実績比：+23.0%
営業利益	63億 ・前回予想比：+215.0% ・前期実績比：+136.3%	45億 ・前回予想比：-18.2% ・前期実績比：+1.2%	108億 ・前回予想比：+44.0% ・前期実績比：+51.8%

上期連結業績予想

- 1Qの大幅増収、強い電子楽器需要を反映し、売上高が対前回予想比で29%増加
- 大幅な増収により、販管費率が低下

(単位: 百万円)	2020年12月期 上期 ¹		2021年12月期 上期 ²					
	実績	売上比	前回予想	売上比	今回予想	売上比	前回予想比	前期比
売上高	28,234	100.0%	32,100	100.0%	41,400	100.0%	+29.0%	+46.6%
売上総利益	13,716	48.6%	14,700	45.8%	19,100	46.1%	+29.9%	+39.2%
販管費	11,050	39.1%	12,700	39.6%	12,800	30.9%	+0.8%	+15.8%
営業利益	2,666	9.4%	2,000	6.2%	6,300	15.2%	+215.0%	+136.3%
当期純利益 ³	1,650	5.8%	1,200	3.7%	4,600	11.1%	+283.3%	+178.7%

1 2020年12月期上期の為替レート 米ドル/円：108.28、ユーロ/円：119.34、ユーロ/米ドル：1.102

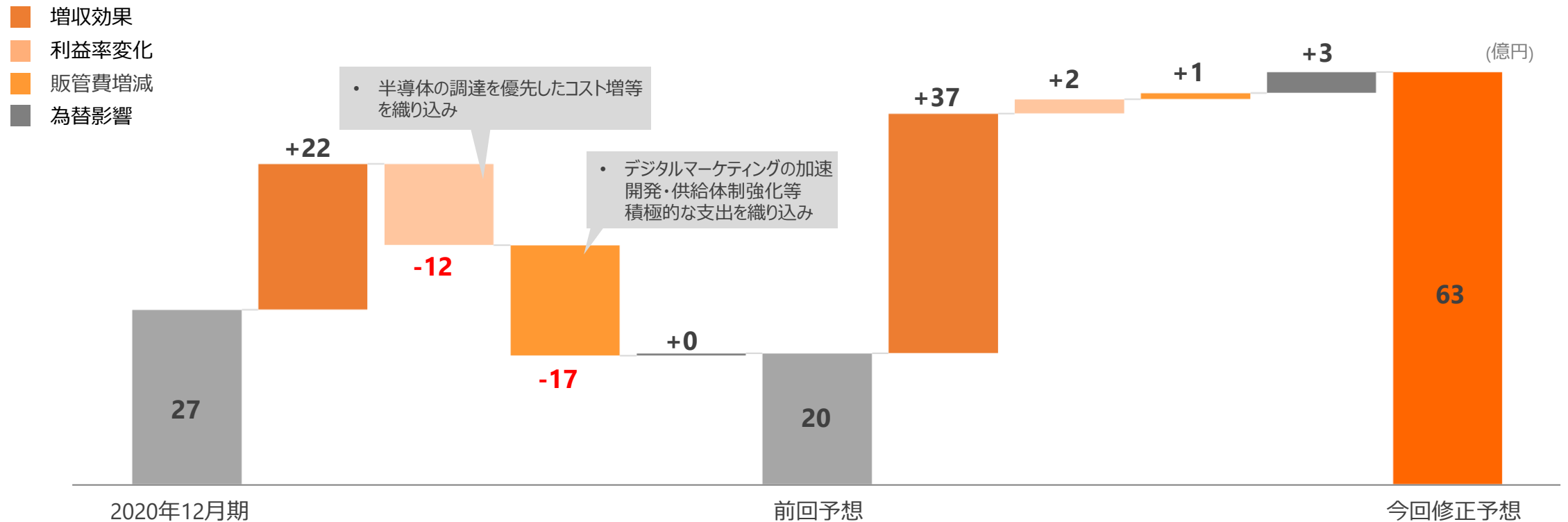
2 2021年12月期上期の想定為替レート 米ドル/円：105.96、ユーロ/円：127.36、ユーロ/米ドル：1.202

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

上期連結営業利益予想

前回予想からの
修正ポイント

- **増収効果:** 増収に伴う売上総利益額の増加を見込む
- **利益率変化:** 価格適正化効果が徐々に発生見込み
- **販管費増減:** 売上増加に伴う物流費や人件費増加を広告販促費等で調整
- **為替影響:** ドル/円、ユーロ/円、ユーロ/ドル等、主要通貨ペアが想定よりポジティブに推移と予想



下期連結業績予想

- 売上高は為替影響を除き前回予想を維持(為替影響を含み増収)
- 売上総利益率は、前回予想比では低下も前期比では良化

(単位: 百万円)	2020年12月期 下期 ¹		2021年12月期 下期 ²					
	実績	売上比	前回予想	売上比	今回予想	売上比	前回予想比	前期比
売上高	35,810	100.0%	36,300	100.0%	37,400	100.0%	+3.0%	+4.4%
売上総利益	16,663	46.5%	18,300	50.4%	17,700	47.3%	-3.3%	+6.2%
販管費	12,214	34.1%	12,800	35.3%	13,200	35.3%	+3.1%	+8.1%
営業利益	4,448	12.4%	5,500	15.2%	4,500	12.0%	-18.2%	+1.2%
当期純利益 ³	2,651	7.4%	4,000	11.0%	3,100	8.3%	-22.5%	+16.9%

1 2020年12月期下期の為替レート 米ドル/円：105.37、ユーロ/円：124.36、ユーロ/米ドル：1.179

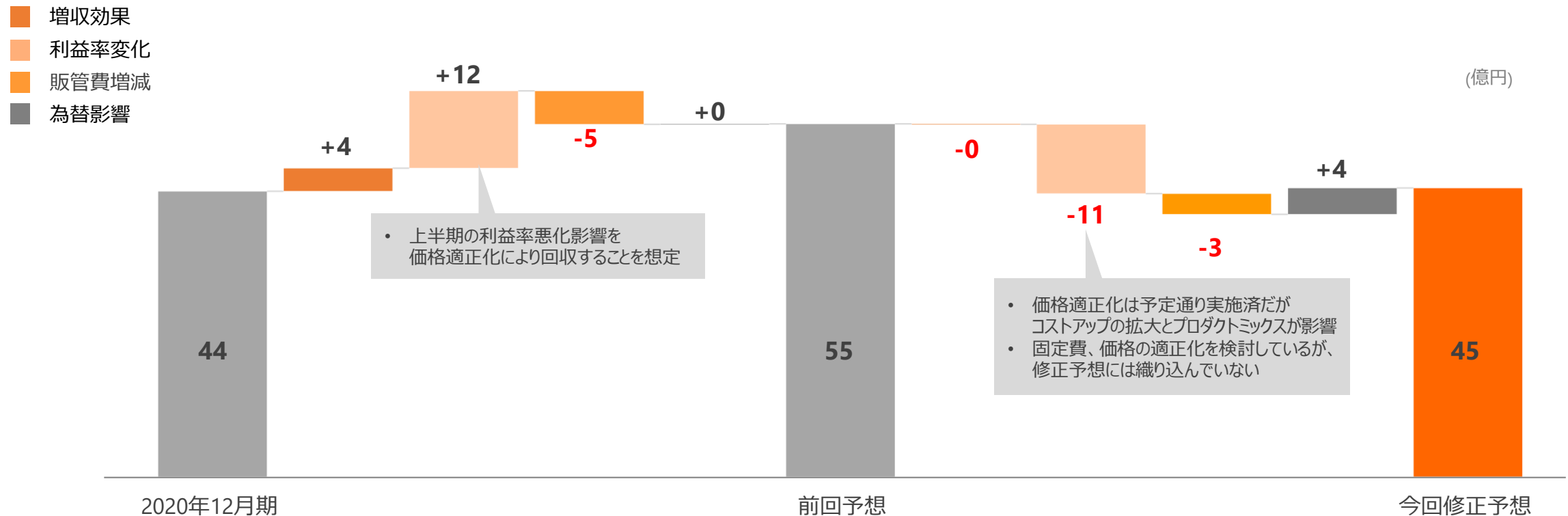
2 2021年12月期下期の想定為替レート 米ドル/円：106.00、ユーロ/円：127.00、ユーロ/米ドル：1.198

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

下期連結営業利益予想

前回予想からの
修正ポイント

- **増収効果:** - (売上は、為替影響を除き前回予想を維持)
- **利益率変化:** 原材料費、海上輸送費高騰は継続見込み、低価格帯ピアノの販売拡大も利益率に影響見込み
- **販管費増減:** 通期売上増加に伴う人件費増加
- **為替影響:** ドル/円、ユーロ/円、ユーロ/ドル等、主要通貨ペアが想定よりポジティブに推移と予想



株主還元

配当予想は前回予想を維持

今後の資金需要を見極め、修正する場合は別途開示

2021年12月期 配当予想 (2月12日発表)

- 第2四半期末 : 47円
- 期末 : 47円
- 合計 : 94円

〈基本方針〉

持続的かつ安定的な配当を行うとともに、株式市場動向や資本効率等を考慮した機動的な自己株式の取得も適宜行うことで、連結総還元性向は**原則50%**を目指し、成長投資資金の留保が必要な場合も、連結総還元性向は30%以上を目指す。

1 2021年12月期 第1四半期 決算概要

2 2021年12月期 通期 業績予想修正概要

3 2021年12月期 上期・下期別 業績予想修正概要

4 事業環境アップデート

5 補足資料

需要は高いレベルで継続すると予想。原材料費等の高騰は、価格適正化も含め対応を検討

需要

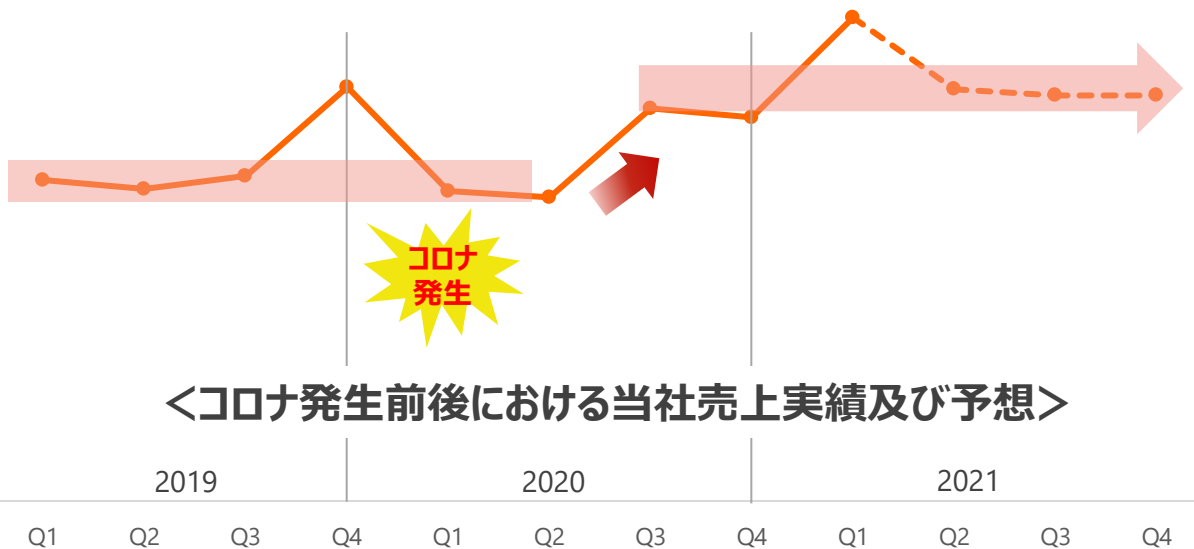
- ワクチン接種の拡大により、相対的なStay Home需要の落ち着きは想定される
- 一方、**新たな生活様式の定着**により増加した余暇時間が、アフターコロナにおいても大きく減ることは想定していない(元の生活様式に完全に戻ることは想定していない)
- 結果として、気軽に始められ、またEC販売とも相性の良い電子楽器需要は、来期以降も**ビフォーコロナより高いレベルで継続**すると見込む

供給

- 半導体需給のひっ迫、コロナによるロックダウン等、**調達・生産の見通しは不透明感が継続**

コスト

- 原材料費の高騰は当面継続すると予想。**経費および価格の適正化**を検討



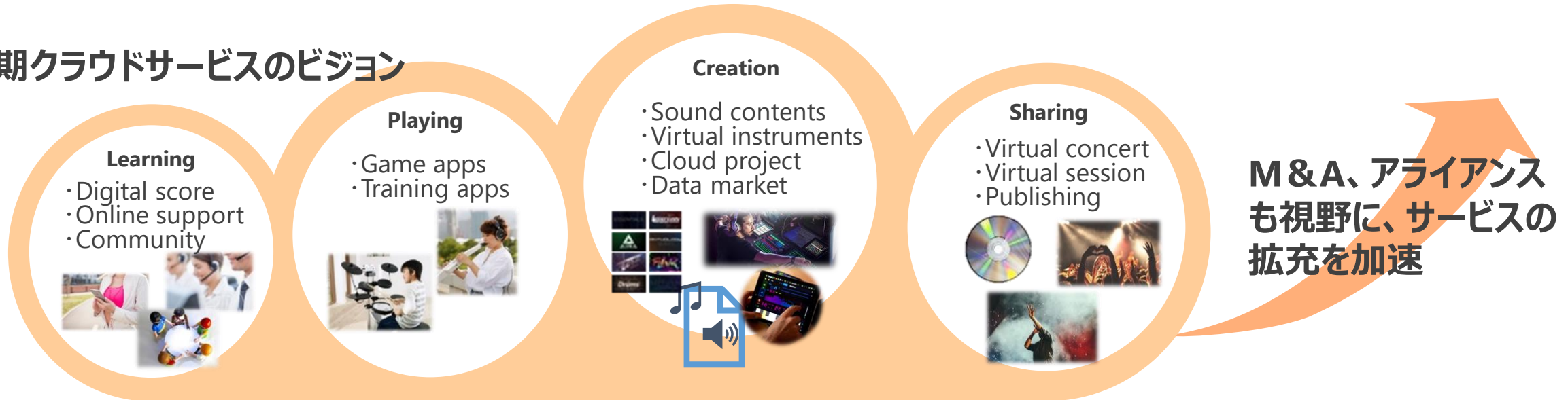
<コロナ発生前後における当社売上実績及び予想>

供給の不透明感はあるものの
 コロナ前より**一段高い需要レベル**
 を前提とした業績の継続を見込む
 (2022年12月期業績予想は、2022年2月開示予定)

Roland Cloudビジネスの進捗

- 既存のミュージシャンだけでなく、これから音楽を始めたい**ポテンシャルカスタマー**へも、音楽を楽しむためのトータルソリューションを提供
- 音楽を楽しむまでの様々な「壁」を取り除く**ソリューションプロバイダー**への転換を目指す

中長期クラウドサービスのビジョン



有料 会員数

2019年12月末時点

約**8,000**

(参考) Roland Cloud Account登録者

—

2020年12月末時点

約**13,000**

約**102,000**

2021年3月末実績

約**14,300**

約**122,000**

既存ユーザーに加え
新規顧客への
マーケティングを強化

1 2021年12月期 第1四半期 決算概要

2 2021年12月期 通期 業績予想修正概要

3 2021年12月期 上期・下期別 業績予想修正概要

4 事業環境アップデート

5 補足資料

主要連結財務数値(PL/指標/BS)

(単位: 百万円)	2020年12月期 1Q	2021年12月期 1Q	(単位: 百万円)	2020年12月期 期末	2021年12月期 1Q末
売上高	14,282	22,355	現金及び預金	10,832	12,259
売上原価	7,261	11,863	受取手形及び売掛金	5,930	8,826
売上総利益	7,021	10,491	たな卸資産合計	18,075	18,749
販売費及び一般管理費	5,926	5,881	その他流動資産	1,220	762
営業利益	1,094	4,610	流動資産合計	36,058	40,597
営業外損益	-225	-240	有形固定資産合計	5,761	5,766
経常利益	869	4,369	のれん	22	22
特別損益	3	111	その他固定資産	4,254	3,742
税金等調整前四半期純利益	873	4,481	固定資産合計	10,038	9,532
法人税等合計	216	1,056	資産合計	46,096	50,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	654	3,423	支払手形及び買掛金	5,228	5,662
EBITDA	1,482	5,005	短期借入金	138	127
D/Eレシオ	0.7x	0.4x	1年内返済予定の長期借入金	3,935	3,904
自己資本比率	40.5%	47.0%	その他流動負債	7,678	7,878
Debt / EBITDA ¹	2.0x	0.5x	長期借入金	5,762	5,543
ROE ¹	15.9%	60.7%	その他固定負債	3,203	3,187
フリー・キャッシュ・フロー ²	870	2,499	負債合計	25,945	26,302
FCFコンバージョン	132.5%	73.0%	純資産合計	20,151	23,827
			負債純資産合計	46,096	50,130

¹ Debt/EBITDAおよびROEは年換算値

² フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。